平成31年度
七色の架け橋予算

ここからは、総合計画の「第3編　重点プロジェクト」「第4編　施策分野別の基本計画」「第5編　計画推進に向けた取組み」ごとに、主な事業と予算を掲載します。

重点プロジェクト1 『献上桃の郷』展開プロジェクト（町のイメージアップ）

「献上桃の郷」商標登録を契機として、本町産桃のブランド化等を推進し、町のイメージアップと交流人口の拡大に努めるとともに、農家はもとより、町民所得の向上を目指します。

①質の高いモモ生産に向けた農家支援【1億9,984万円】

※うち国県等補助金（1億9,551万円）　担当：産業振興課

25年連続で献上桃指定を受けている桑折町の桃のさらなる品質向上を目指し、各種施策、生産農家支援に取り組みます。主な事業は次のとおりです。

・光センサー選果機システム導入事業【1億6,850万円】
・果樹改植事業【2,701万円】
・モモせん孔細菌病防除対策事業【189万円】
・環境にやさしいモモづくり推進事業【185万円】　など

②町振興公社の組織強化支援事業【1,180万円】

※うち国県等補助金（590万円）　担当：商工観光推進室

地域振興、観光誘客促進に取り組む町振興公社に対し、専門的人員の確保など組織強化の支援を行います。

③東北楽天ゴールデンイーグルス「桑折町デー」協賛事業【400万円】

※うち国県等補助金（400万円）　担当：総合政策課

昨年の初開催に引き続き、今年もプロ野球の人気チームが行う試合への協賛事業を通じて、町の農産物や観光地としての魅力を積極的にPRします。
「桑折町デー」の試合は、5月15日（水）開催予定！

④献上桃の郷こおりシティプロモーション事業【312万円】

※うち国県等補助金（35万円）　担当：総合政策課

町のイメージアップや交流人口の拡大を図るため、今年度は特に仙台圏域でのプロモーションを強化しつつ、広域的に町の魅力や知名度の浸透拡大を目指します。また、町ロゴマークを活用したグッズ製作や販売などにも取り組み、町内外に向けて町のPRを展開していきます。

⑤観光誘客プロモーション事業【935万円】

※うち国県等補助金（672万円）　担当：商工観光推進室

首都圏・仙台圏・海外等への観光及び特産品等のPRを展開するとともに、昨年4月にオープンした「レガーレ こおり」を拠点とし、交流人口の拡大や、町の知名度向上とイメージアップに繋げます。

◀生産者との交流の場「伊達崎マルシェ」（レガーレ こおり外庭）

重点プロジェクト2 21世紀の追分推進プロジェクト（効果的な土地利用）

相馬福島道路を活かした効果的な土地利用を図り、移住・定住を視野に企業誘致と新たな雇用の創出に努め、さらに、広がりのある観光周遊ルートの形成による交流人口の拡大策を講じ、広域的な地域の拠点形成を目指します。

①（仮称）国道４号ＩＣ周辺の土地利用検討と企業誘致【411万円】

※担当：まちづくり推進課

平成32年度開通予定の相馬福島道路は、昨年12月に東北自動車道に接続するジャンクションの名称が【桑折ジャンクション】と決定されました。（仮称）国道4号ICについても「桑折」の名称が使用されるよう、引き続き働きかけていきます。
IC周辺の土地利用については、民間活力の活用も視野に入れながら、企業誘致と新たな雇用創出への取り組みを強化し、検討を進めます。

重点プロジェクト3 歴史まちづくり推進プロジェクト（歴史的風致維持向上計画の取組み）

先人から受け継いできた歴史的資源を次世代へ確実に継承していくため、本町の「良さ」「らしさ」を再認識し、歴史的建造物と人々の営みが一体となった良好な環境整備を進めるとともに、町のPRに努めながら“歴史探訪者”の増加を目指します。

①史跡桑折西山城跡整備事業【4,299万円】

※うち国県等補助金（2,033万円）　担当：生涯学習課

史跡公園整備事業の4年目となる今年度は、本丸に通じる「大手道」周辺の施設整備を中心に実施し、併せて、本丸周辺の危険木の除去や、中館・西館を周回して平沢口まで歩いていくことができるよう通路を確保していきます。

②万正寺の大カヤ周辺整備事業【787万円】

※うち国県等補助金（320万円）　担当：生涯学習課

県の天然記念物に指定されている「万正寺の大カヤ」の周辺を、保護と活用のために3か年事業として整備していきます。初年度となる今年度は、整備用地の公有化のための不動産鑑定と用地取得を実施します。

重点プロジェクト4 町民のための庁舎整備プロジェクト（役場新庁舎の建設）

災害対策や町民活動の拠点的機能を有し、利便性や快適性を考慮した庁舎づくりを進め、町民に寄り添い頼りにされる役場を目指します。

①役場新庁舎建設事業【7億436万円】

※うち国県等補助金（530万円）　担当：新庁舎整備室

2020年度完成を目指し、今年度の夏に本体建築工事に着手します。整備事業の進捗状況は、「新庁舎建設NEWS」や町ホームページなどで随時町民の皆さんへお伝えしていきます。

※財源は、補助金のほか、基金、地方交付税措置を活用

【今年度の予定】
実施設計町民説明会（4月下旬頃予定）　⇒　敷地造成第2期工事　⇒　庁舎建築工事（基礎、躯体）